

社会調査法

担当教員 竹中 健

配当年次 2年

単位区分 必修

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 社会調査の意義と目的および方法を理解し、調査結果についての的確な解釈の仕方を習得する能力を身につける。
2. 量的調査の方法、質的調査の方法を学び、自ら調査ができる能力を習得する。
3. 統計法の概要、倫理規定、個人情報保護、インタビューの技法、参与観察の手法を学ぶ。
4. 論文の書き方について学び、卒業研究論文作成に活用できるようにする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス
2	社会福祉と社会調査(目的・役割・意義)
3	社会調査の計画と準備・倫理的配慮・個人情報保護・訪問面接調査・郵送調査・留め置き調査
4	量的調査の設計 調査票の質問項目の作り方 調査票の配布と回収
5	ダブルバーレル質問 キャリーオーバー効果 パーソナルな質問とインパーソナルな質問
6	統計法 量的調査の分析手法 相関・クロス集計・検定
7	測定 測定の水準 測定信頼性と妥当性
8	単純集計と記述統計 コーディング
9	調査法の比較 量的調査と質的調査 ITの活用方法
10	リサーチデザインのつくりかた グラウンデッドセオリーアプローチ
11	インタビューのしかた 自由面接法 構造化面接 半構造化面接
12	参与観察法 ゴッフマン『アサイラムス』誠信書房
13	質的調査 病院ボランティア組織の調査より 質的調査の手法・概念の整理
14	量的調査『大学生と語る性』より 量的調査の手法・概念の整理
15	計量分析における結果の図表化 アウトプットの分析と考察方法

【履修上の注意事項】

第1回目の授業では必要な事項についての説明がある。必ず出席すること。
各回の講義内容に沿って事前学習と事後学習をし、内容の理解を深めること。

【評価方法】

合計5回のテストを講義内で行う。試験週間(8月1日～7日)には、試験を行わない。
合計5回のテスト【各回の配点は20点】を合計した点を、最終評価点とする。

【テキスト】

特に指定しない。
必要に応じてプリントを配布する。

【参考文献】

E. ゴッフマン『アサイラムー施設被収容者の日常世界』誠信書房
その他、授業の中で適宜指示をする。